

あなたと 青山学院

地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World
青山学院スクール・モットー

33万人の卒業生と母校をつなぐ「絆」
January 2014 No.14

今号の聖句 新しい歌を主に向かって歌え。全地よ、主に向かって歌え。 O sing to the Lord a new song; sing to the Lord, all the earth. 詩編 第96編1節

校友会120周年 記念式典

2013年11月16日(土)、青山学院校友会120周年記念式典が青山学院講堂で執り行われ、秋冷の晴天下、500名を超える校友が一堂に会しました。山北宣久院長、安藤孝四郎理事長はじめ学院執行部の方々にも出席いただき、校友センターなど学院各部門の献身的な支援も得て、盛大にして厳粛な感謝と祈りの集まりとなりました。当日、参列できなかった校友の皆さまに式場の模様をご報告します。式典は、礼拝に始まり、『青山学院の歌』斉唱、祝辞、記念品贈呈、校歌斉唱、記念講演と続けられました。

「人にしてもらいたいことは…」

記念礼拝で、山北院長が1893年、校友会の基礎である青山同窓会が組織されたことが紹介され、その後、いったん途絶えた同窓会を本多庸一先生が今につながる校友会として再興させた、その見識の広さを思い、感謝の意を述べられました。

説教の中では、マタイによる福音書第7章12節の聖句、「だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者である」を引用され、緑岡小学校と緑岡幼稚園を創ることに奔走し、自ら緑岡小学校の校長となられた校友の米山梅吉氏も、主イエスのこの言葉をよく口にしておられた、とのエピソードが紹介されました。

相川和宏校友会会長は、多くの先達の協力と努力による120年であることを感謝し、「さらなる発展のため、自ら礎となる覚悟である」と述べ、式場の校友に対し母校支援への協力を呼びかけてあいさつしました。

また、安藤理事長が、祝辞の中で校友会会長を自身も務められたことに触れ、「校友会の歴史と校友会を支えるのは、校友一人ひとりの協力の気持ちである」と述べられました。

引き続き、校友会会長から理事長に学院への記念品としてDVDが贈呈されました。その中には、学院の歴史と年間行事、校歌、カレッジソングなどが収録されています。大学生の中には校歌を歌うチャンスがほとんどないまま卒業を迎える例も多いと聞いていることから、このDVDを活用して校友と現役学生がともに校歌を歌うことによって心がひとつになれば、という願いを込めたものです。



記念礼拝 山北院長



目録を手にする安藤理事長



オール青山で歌う『青山学院の歌』

『青山学院の歌』に満場が感動

記念式典の中で幼稚園児と初等部から大学までの聖歌隊が壇上に上がり、全員が一緒にひとつの歌を歌いました。戦災で焼け野原になった青山学院に希望を、と昭和20年代後半、第9代院長で初代大学学長の豊田實先生(英文学・英語発音法)が作詞され、日本を代表するクラシック音楽作曲家、校友の團伊玖磨氏(1942年中等部卒)が曲をつけた『青山学院の歌』です。初等部生から大学生までそれぞれの心得が各節に織り込まれ、オール青山の精神を象徴する端正な歌詞で、初めて披露されたとき、團伊玖磨氏ご自身が生徒・学生の前で指揮をされた4拍子の伸びやかなメロディーです。

この曲が作られた当時、現在の幼稚園は生まれていなかったことから、歌詞がつけられませんでした。この日の記念式典に向けて、現園長を兼ねておられる山北院長が詞を補作してくださいました。

イエス様の愛に育つは園児たち／喜びあふれ感謝に満ちて／
青山よ／青山よ／われらの青山

この第1節を園児たちが歌い、続いて初等部の児童、中等部・高等部の生徒、女子短期大学・大学の学生たちがそれぞれの学校の詞を歌い継ぎます。そして、最後に全員で次の歌詞を歌いあげました。

神の恵の露しげき／緑が丘に咲きいづる／文化の花は夢に富む／
若き生命を薫らせば／奉仕の実もて人類の／福祉を増さん青山に／
とわの幸あれ栄あれ／青山よ／青山よ／われらの青山(原作のまま)

壇上の歌声にあわせて多くの校友たちが歌詞を口ずさみ、学院で経験した出来事の数々を回想されたのか、涙ぐむ姿もあちらこちらに見られました。式場は熱い感動に包まれていました。この日参列した校友の中には『青山学院の歌』を初めて聴く方もおられたようですが、この美しい歌詞と旋律から神の守りのうちに過ごした日々を思い出すことができたのではないのでしょうか。「これが青山学院なのですね」という声も聞かれました。

(2面に続く)



校友会120周年おめでとうございます

長きにわたり校友会の活動を支えてこられたご努力に感服いたします。

2013年11月16日に行われた式典では、かつて青山学院で学んだ方々から現在の青山学院の最も若い構成員である幼稚園児まで、すべての心がひとつになった歌声が響きました。まさにあの合唱こそ、手を携える校友会と青山学院の姿そのものといえるでしょう。

2014年、青山学院は創立140周年を迎えます。過去から現在、そして未来へ、ともに歩み続けましょう。

青山学院理事長 安藤 孝四郎

(左から)
初等部部长 中村 貞雄 中等部部长 山本 与志春 高等部部长 西川 良三 理事長 安藤 孝四郎 院長・幼稚園園長 山北 宣久 大学学長 仙波 憲一 女子短期大学学長 八耳 俊文

CONTENTS

校友会	校友会120周年記念式典	1
校友会 学校法人	校友会120周年記念式典・今号の聖句	2
学校法人	青学ニュース	3
校友会	支部ニュース	6
校友会	校友会本部	7
校友会	アイビーグループニュース	8

校友会	部会・同窓会ニュース	10
校友会	あのころ・そして・いま／作曲・編曲家 渡辺 俊幸さん	12
学校法人	Useful Information	13
学校法人	青学探訪「資料センター所蔵資料 紙上展示室 第3回 明治期の讃美歌」	14
学校法人	青山学院からのお知らせとお願い	15
校友会	校友会ニュース / みんなで走った箱根駅伝	16